

目標達成計画

作成日 : 平成23年4月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義をふまえた理念を共有して完全に実践につげられていない。	地域密着型事業所理念として地域とのつながり、地域密着型サービスの役割・意義について認識する。	地域関係者を含めた利用者と地域とのつながり、地域密着型サービスについての話し合いを行う。	6ヶ月
2	8	権利擁護に関する制度と理解と活用について全ての職員が理解しているとはいえない。	青年後見人制度の活用が必要な状態になった時、利用者に適した支援を全職員で提案できるようにしたい。	月1回の全体職員会議において年2回権利擁護、青年後見人制度の勉強会を実施する。	12ヶ月
3	35	災害対策として定期的実施している非難訓練は、あまり実践的でない。	実際に全ての職員が利用者を安全に非難誘導できるようにしたい。職員だけでなく地域の方にも応援をお願いします。	より実践的な訓練を重ね訓練後は必ず反省会を行い全ての職員のレベルアップを図る。また地区自治会への要請に出向き、当ホームの見取り図などを確認してもらい地区消防団との交流をもつ。また水、食料の備蓄。	6ヶ月
4	49	日常的な外出支援は利用者、ご家族に十分満足していただけていない。	計画的な外出レクリエーション以外に利用者の希望に応じた外出に対応できるようにする。	大人数での外出ではなく、比較的対応しやすい少人数で、その日の天候、体調に合わせて利用者の外出希望を叶える。	6ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。